

2018年度 経営学部 FD 活動報告

経営学部 FD 委員会委員

「2018年度経営学部 FD 活動方針・活動計画」にもとづき、以下の活動を行った。

1. 学生および保護者の意見聴取

(1) 成績優秀者の学部長表彰式および懇談会

2018年6月20日(水)13時30分から14時40分、2年次生以上の成績優秀者12名に対する表彰を行った。成績優秀者は15名のうち12名が出席した。そして学生から経営学部および大学への要望を聞くことを目的として、教員との懇談の場を設けた。

学生からは、講義運営、カリキュラム、成績評価、キャンパス環境などについて多様な意見や質問が出され、教員がその場で回答できる内容については、出来る限り回答した。また、回答できないものについては、担当部署への検討依頼をすることとした。この懇談会の内容を文章にし、教授会において学部長・学科長が報告した。懇談会に出席していない教員にも情報が共有された。

(2) ゼミ長会議

2018年6月20日(水)15時から16時25分、各ゼミのゼミ長41名と学部長・学科長が出席し、ゼミ長会議を行った。3・4年生のゼミ45のうち41のゼミから代表者が集まった。学生からは、ゼミの運営に関する意見や要望に加え、大学に対する幅広い意見や要望が出され、教員が可能な限り回答をした。成績優秀者の懇談会で得られた意見とは異なり、学業以外の内容が多かった。全学レベルの対応が必要とされる意見もあった。そこで可能なものに関しては担当部署への検討依頼をすることとした。この内容は、教授会の席において学部長より報告され、学部教員にも情報共有された。

(3) 「父母の集い」における保護者との懇談

2018年9月29日(土)に開催された第46回父母の集いにおいて、保護者からの意見や要望事項を聴取した。学科懇談会および指導教員との個別面談を通じて、保護者からは大学に対する幅広い意見や要望が出された。

2. FD 研修会の実施

経営学部の授業では、産学連携をもとに、多くのゼミナールで学生の実践的な学びの場（アクティブラーニング）を提供している。しかし、その運営ノウハウや授業の進め方が教員間で十分に共有されていない。アクティブラーニングや授業運営全般に関するコツや技法、起こりうる問題と具体的な問題解決の方法は大切な情報である。こうした情報が教員個人の中にとどまっている。そのため、教員間で情報を共有する方法をテーマとし、FD 研修会を開催した。

具体的には、ICT を活用した教育改善の研究と実践に長年携わってきた専門家（加藤由香里先生）に講演をおこなってもらった。まず「ティーチング・ポートフォリオ」という手法を紹介してもらった。この手法は、多様なテーマの授業があるにもかかわらず、統一評価項目をもとにする授業アンケートの限界を克服する。ポートフォリオの作成を通じて、教員の自己省察が促され、教育改善とともに評価者へのアピールにもつながる。そして、情報共有と改善コミュニティの組織化がはかれる。研修会の後半、ポートフォリオ作成と教員同士の相互参照を実際におこなった。これによってティーチング・ポートフォリオの理解が一段と進んだ。

開催日時 : 2018年10月3日(水) 15:00~16:30

開催場所 : 名古屋キャンパス J棟 J55 教室

話題提供者 : 加藤由香里先生 (首都大学東京 国際センター)

タイトル : ティーチング・ポートフォリオを活用した教育改善

3. 「基礎演習 AB・CD」担当教員ミーティングと授業内容データベース作成

2018年6月27日(水) および12月12日(水)、名古屋キャンパス J55 教室において、「基礎演習 AB」「基礎演習 CD」の担当教員ミーティングを実施した。事前に、当該科目を担当する教員が、各クラスの授業内容、使用教材、運営方法、気が付いたことをポルタに登録した。登録内容をエクセル経由でデータベース化した(データベース内容を「経営学部 FD 活動報告資料 2018 年度」として別添する)。

ミーティングではデータベースを参照し、質疑応答をおこなった。担当教員がそれぞれの特徴を活かした授業を実施していることが明らかになり、よりよい授業を実施するためのアイデアを交換する場となった。たとえば、グループ作りの方法や意見を引き出す工夫について意見交換があった。

また、学生の状況についても情報を共有し、学部全体として基礎演習の運営の基本方針や留意点を明確にした。そして春学期から秋学期、また 2 年次生への移行がスムーズに行われるよう、担当者間での引き継ぎを行った。

4. 教育・研究業績リストの掲載

教員の研究教育上の資質向上をめざし、学部教員の前年度 1 年間の教育・研究業績リストを、学内紀要『南山経営研究』に掲載した。

5. 学生アンケート調査結果の情報共有

経営学部生（1 年生と卒業年次生）を対象としたアンケート調査結果が、前述の「基礎演習 AB」担当教員会議で報告された。経営学部の選択理由や、学生生活の振り返りのデータをもとに、経営学部の特徴や課題を教員で共有した。

以上